

# 高度化ポートフォリオ 令和7年度の運用実績

## 〔実績ハイライト〕

### 高度化ポートフォリオ

収益率 11.80% 収益額 63.59億円 資産時価額 658億円

### 資産クラス別概要

#### 円ベース債券

√円ベース債券は、円ヘッジコストが3%程度で推移し、ベンチマークリターンが▲5.4%となる厳しい環境が続きました。その中、本学ではアンコンストレインド・ファンドへの切り替えを進めてきたことにより約2.1%を確保しています。国内債券の厳しい環境を踏まえて、本学では基本ポートフォリオ(20%)に対してアンダーウェイト（期末時13%）を継続しています。

#### 【用語】

アンコンストレインド・・・幅広い債券（内外国債、政府機関債、投資適格社債、モーゲージ証券、ハイイールド債、バンクローン、エマーシング債等）を対象に、資産配分やデュレーションを機動的にコントロールし様々な環境下でリターンを追求します。

# 高度化ポートフォリオ 資産クラス別の実績

## グローバル株式

✓株式市場では、中東情勢を受けて2月以降に上昇幅を縮小したものの、通期では半導体・AIが牽引する好調な市況環境が続き、28.1%と大幅なプラスとなりました。

## オルタナティブ

✓プライベート・デットやプライベート・エクイティとも堅調で、それぞれ15.6%と8.9%となりました。

✓不動産は、国内の私募REIT、J-REITの上場ETF、国内不動産融資に投資しています。一昨年から保有していたJ-REITの時価上昇などが貢献して8.2%のプラスを確保しました。

✓金、原油価格をはじめとする商品価格の上昇によりヘッジファンドが好調に推移し、10.5%のプラスとなりました。

✓オルタナティブ資産への投資が進んだことから、期末のオルタナティブ資産保有比率は前期末の43%から53%へと増加しています。

### 【用語】

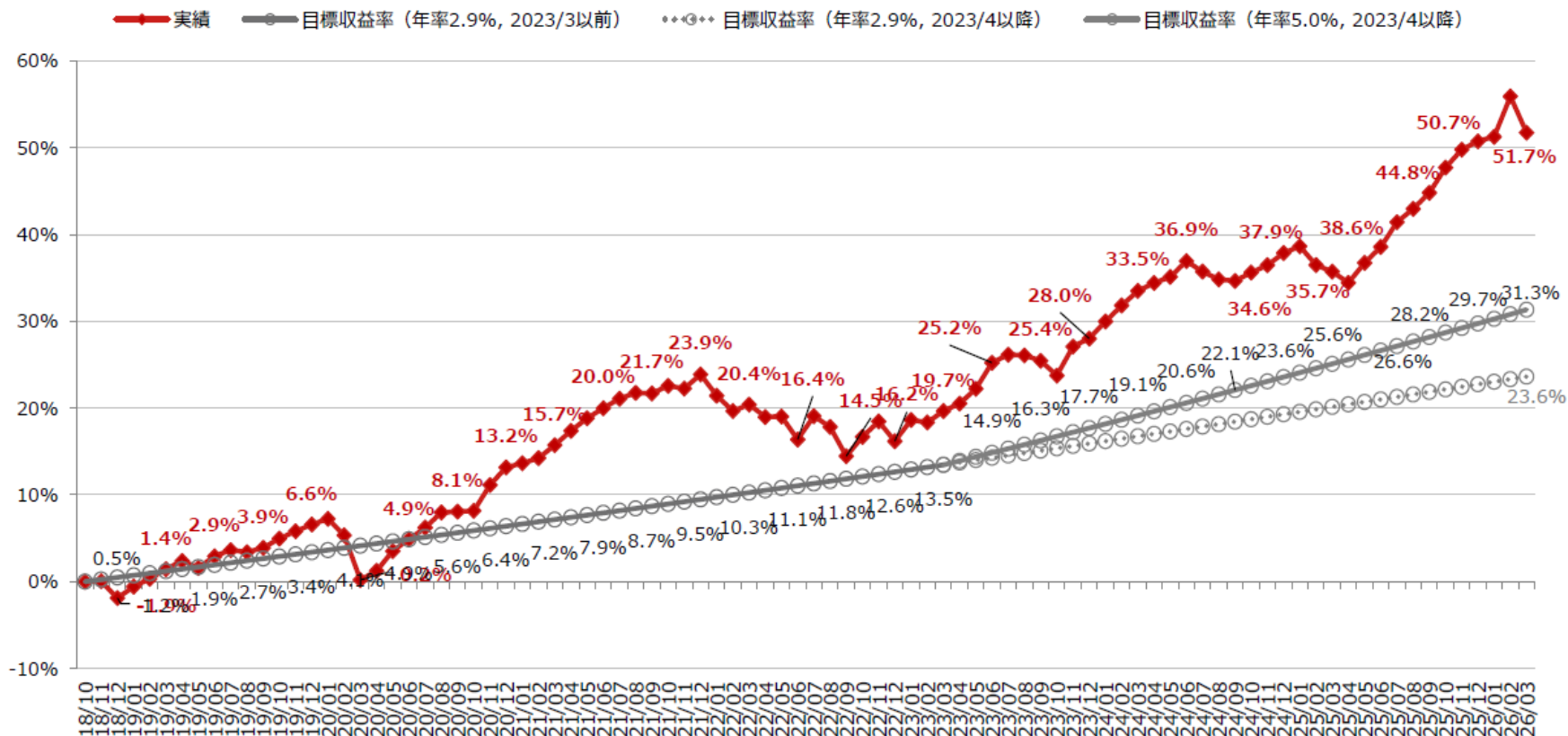
プライベート・デット…ファンドが企業等へ資金を貸し出すことによって金利を得ます。

プライベート・エクイティ…未上場の株式に投資します。投資先の企業のステージによってベンチャーキャピタル、セカンダリー、バイアウト等の戦略があります。

# 高度化ポートフォリオ 投資開始来累積収益率

## 投資開始来 累積リターンの推移

✓投資開始来の年率収益率は+5.8%

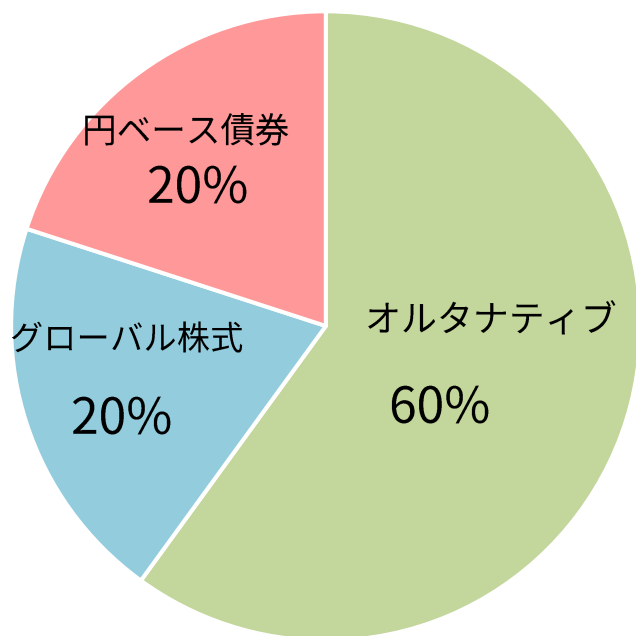


・グレーの線は本学ポートフォリオの期待リターンを示しています。実績が期待リターンを上回って順調に推移しています。

# 高度化ポートフォリオの状況

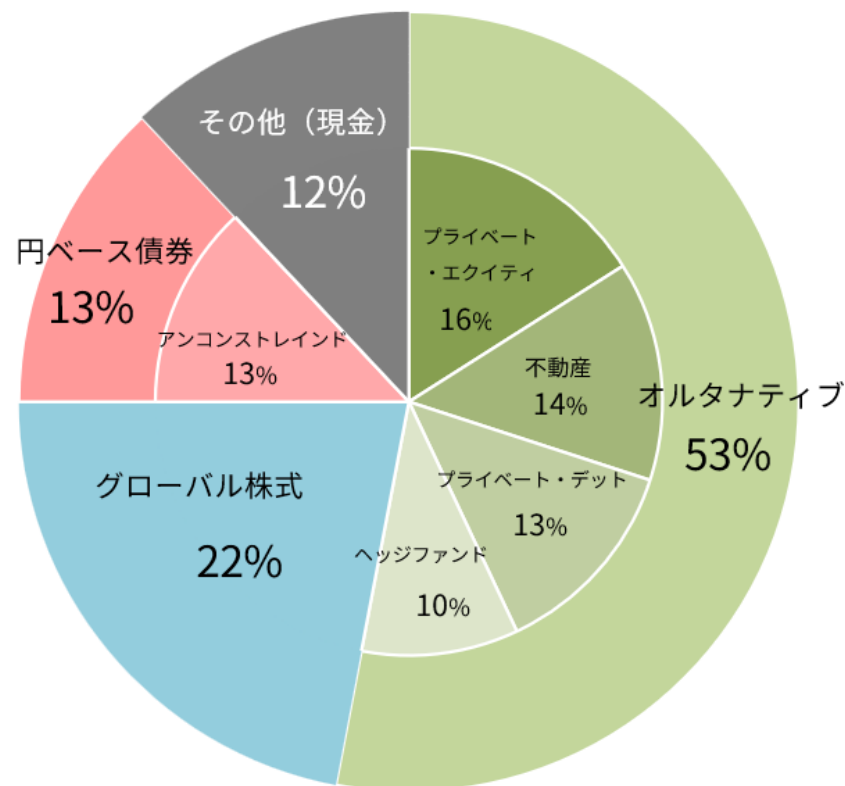
## 高度化ポートフォリオの組み入れ状況

### 基本ポートフォリオ



【2023年1月決定】

### 実践ポートフォリオ



【2026年3月現在】